

研究に関するお知らせとご協力のお願い

2024年5月27日

横浜医療センター 産婦人科では、下記の研究を行います。
この研究は条件を満たす患者さん全員を対象といたします。もし、この研究への参加を希望されない場合には、対象とはいたしませんので、お問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、診療を受ける上で不利益を被ることはありませんのでご安心ください。

■研究課題名

『内視鏡下子宮全摘術における尿路損傷に関する他施設共同観察研究』

■研究代表者

国立がん研究センター東病院 婦人科 竹中 慎

■当院における研究責任者ならびに研究分担者

研究責任者：産婦人科 医師 最上 多恵（部長）

研究分担者：産婦人科 医師 栃尾 梓（医長）、小林 奈津子（医長）、
鈴木 沙也香

■研究の対象となる方

2022年1月1日から2023年12月31日までの期間に、当院産婦人科で腹腔鏡下子宮全摘術を施行された成人の患者様

■ご協力頂く内容

上記の対象期間中に診療録に記録された診療情報を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則り、個人情報には厳重に保護した状態で行います。

■研究の概要

研究の目的及び意義

内視鏡下子宮全摘術は広く普及しているものの、隣接する臓器である尿管や膀胱などにおいて、一定の頻度で手術中の予期しない損傷が発生しています。本研究は、国立がん研究センター東病院と既存試料・情報の提供のみを行う機関の腹腔鏡下もしくはロボット支援下に子宮全摘術を施行された患者さんの

診療データを用いて、手術における損傷の発生頻度を調査することを目的としています。

研究の期間

2024 年研究許可日 ～ 2025 年 3 月 31 日

研究の方法

当院の電子カルテから診療情報（術中合併症、術後合併症、術前後血清クレアチニン値など）を統計的に解析します。

外部への情報等の提供、個人情報等の取り扱い

この研究で得られた情報は、患者さんを特定できる情報（氏名、住所、電話番号等）は記載せず、本研究固有の症例番号（症例毎に採番）にて管理します。症例番号とカルテ患者 ID 等の対応表データを別途作成します。作成する対応表データはパスワード保護の上、研究責任者が厳重に管理します。

この研究の成績をまとめて学会発表や学術論文として公表されることもありますが、いずれの場合も患者さんの名前等の個人的な情報は一切公表されません。また、この研究で得られたデータが、この研究の目的以外に使用されることはありません。

利益相反に関する状況

開示すべき利益相反は特にありません。

研究に関する情報公開の方法

学会発表・論文作成が行われます。

■ 研究対象者等及びその関係者からの相談等への対応

本研究は既存の診療録情報を利用した後方視的疫学研究であり、対象者への文書や口頭によるインフォームドコンセント取得は困難であるため、相談に対しては個別に対応します。お問い合わせ先までご連絡ください。

■ お問い合わせ先 ※平日 8 時 30 分 ～ 17 時 15 分

独立行政法人国立病院機構 横浜医療センター 産婦人科
産婦人科部長 最上 多恵（当院 研究責任者）

〒245-8575 横浜市戸塚区原宿 3-60-2 電話 045(851)2621（代表）